

設立の趣旨

昭和30年代後半の千葉市は、産業、人口が飛躍的に発展し、産業基盤の強化と生活環境の整備を積極的に推進することが焦眉の急務となった。

しかしそれに要する大量の土地を緊急に充足するには、千葉市だけでは、資金的にも、時間的にも著しく困難なことであった。

そこで土地の取得を容易ならしめるため、民間資金を導入して、諸事業の効率的な実施をはかり、千葉市を調和と均衡のとれた都市として発展させるため、昭和39年10月、「財団法人千葉市開発財団」が発足したものである。

概要

設立年月日 昭和39年10月10日

出 捐 金 1,000万円

出 捐 者 千葉市

組 織



沿革

昭和 / 年月

- 39.10 千葉県知事の認可を得て設立
初代理事長に千葉市長宮内三朗が就任
事務所を千葉市長洲門1丁目10番地に置く
- 39.12 自主事業および代位弁済事業を開始する
- 40. 3 受託買取事業を開始する
- 41.12 先行取得事業を開始する
- 42. 3 寄附行為を変更し、2代理事長に千葉市第一助役荒木和成が就任
- 45. 2 事務所を千葉市千葉港1番1号に移転する
- 45. 9 3代理事長に千葉市第一助役杉山正が就任
- 47. 4 寄附行為を変更し、初代会長に千葉市長荒木和成が就任
4代理事長に野中勘助が任命される
事務所を千葉市本町2丁目1番24号に移転する
学校建設事業を開始する
- 48. 6 5代理事長に鈴木三郎が任命される
- 50. 6 6代理事長に松井旭が任命される
- 52. 7 2代会長に千葉市長松井旭が就任
- 52.10 7代理事長に飯島晋が任命される